

町の考え方を問う

一 般 質 問

6月定例会では観光問題・福祉問題など、町政全般へ9人15項目にわたり質問しました。



企画 次期総合計画への 取り組みについて

Q 現在、箱根町においては小中学校の統廃合の問題、幼児学園や子育て支援施策、そして観光振興施策や環境問題、さらには財政の健全化、近隣市町との連携など、行政課題が山積しているが、町長は引き続き次期総合計画の策定にかかり、その推進を図っていく考えはあるのか。

A 本年2月に第5次総合計画策定基本方針を示し、平成28年度を展望し、町民にわかりやすい計画、町民の意見を把握し、効果的な施策の立案、効果的で実効性

のある計画の策定を行うこととした。

計画策定作業においても、町民の意識調査のためのアンケートや、懇談会の開催、各種団体とのヒヤリングのほか、小中学生にも箱根の将来に向けた夢を作文にしてみらおうと考えており、さらには計画の素案に対しても、町民の意見を求める

ブリックコメントの実施、また、観光客や別荘を持つ町外者の意見も同うなど、今まで以上に住民と行政との協働によるまちづくりを実践し、第5次総合計画の策定にあたらなければ

一般質問ではこのほか次の事項も質問しました。
(順不同)

- 国道1号湯本駅付近における交通渋滞の解消について
- 絶対評価について
- 町・高齢者の介護予防策について
- 箱根火山防災マップ完成後の箱根町の火山に関する施策について
- 住宅改修助成制度及び公営住宅の修繕について
- 箱根の美しい自然を未来に手渡すために

ばならないと考えている。

したがって、行財政環境の変化に伴う影響をしっかりと見極

ちづくりに取り組んでいきたいと考えている。

めながら、小中学校の統廃合、子育て支援施策、幼児学園の建設、定住化対策、超高齢社会対策、さらには合併も視野に入れた広域行政など、取り組まなければならない課題が多く残されているので、これらの課題解決に向け、また、町の基礎である観光振興を図り、真の国際観光地たる地位を確保し、未来へ向けて明るい箱根をつくるため、第5次総合計画の策定にあたっては、自らが職員の方頭に立ち、議会はもとより町民の皆さんとともに考え、知恵を出し合いともに汗を流し、ま

熟慮の結果、来る10月の町長選挙には、再び立候補をさせていたたくことを決意したところである。